

(別紙4(2))

事業所名 グループホームあいの街家代

目標達成計画

作成日: 令和3年 9月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍において感染拡大防止策として面会制限をしている。入居者様の現状を実際見ていただけない中で、施設での入居者様の様子をご家族様に伝える方法が電話連絡のみとなっている。	面会制限下であっても、入居者様の様子をご家族様に報告することでご家族様にも日頃の様子が伝わるようにする。	毎月イベントを実施しているためその様子を写真に撮り、できれば毎月、最低でも3カ月に1回は明細と一緒にご家族に郵送する。プライバシーに配慮し、写真は個別の物を使用する。電話報告のみではなく、視覚からも入居者様の状況が伝わるようにしていく。	2ヶ月
2	10	新型コロナウイルス感染拡大防止策として運営推進会議を書面開催としているため情報の伝わり方が一方通行であり、意見交換が難しくなっている。	書面開催であっても意見照会をすることでひとりよがりにならず、サービスの質の向上に繋げることができる。	情報、意見交換のため、運営推進会議の資料を配布する際返信シートを添付し、意見照会をする。そしていただいた質問や意見に対して施設がどうお答えしたのかを次回の運営推進会議開催時に報告していく。	1ヶ月
3	1	身体拘束について、フィジカルロックをしないことについては職員も意識して取り組んでいるが、日々の支援の中でスピーチロックにつながりそうな言葉かけが聞かれることがある。	入居者様の尊厳に配慮した言葉遣いを職員全員が意識することができる。	年に1回程度の接遇マナーに関する研修の他、年に2回程度の身体拘束に関する研修の実施、スピーチロックや言葉かけに関する自己チェックの機会を設けて振り返りができるようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。